



# えんじゅ

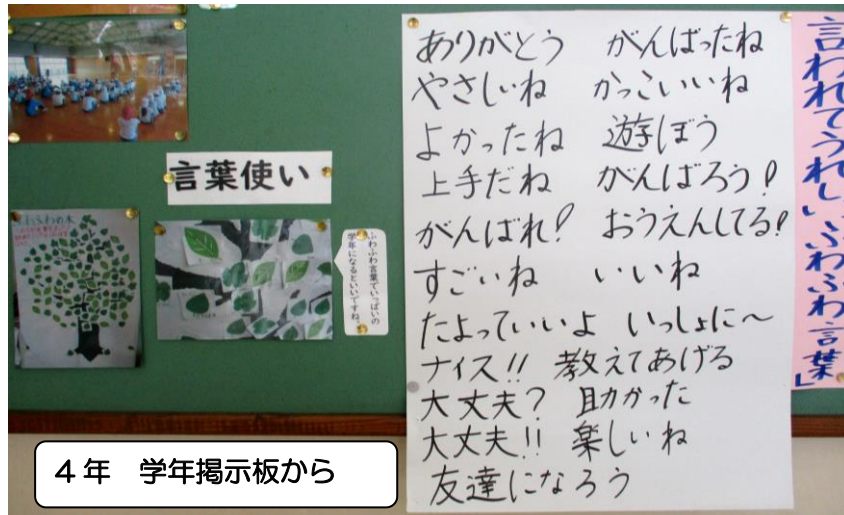
春日市立春日小学校

校長室便り No.5

令和5年6月2日

文責：校長 福島

## ことばの力



4年 学年掲示板から

私事ですが、私には2人の孫がいます。10ヶ月と4ヶ月になります。「目の中に入れても痛くない」ほどかわいいです。子供が生まれた時とは少し違った気持ちで接することができます。

10ヶ月の孫は、接する人の表情がわかるようです。優しい笑顔をしているとご機嫌です。しかめっ面をするとすぐに泣きます。これに言葉が加わるとさらに顕著に反応します。笑顔で「すごいねー」と言うとキャッキヤと笑い、「こらっ」と強く言うときゃーと泣き出します。脳科学の世界でも、快感情になる言葉は脳の発達を促し、その逆は脳にとって良くないと言われます。おじいちゃんとして、言葉を獲得していく孫たちにいい環境をつくりたいものです。

校長としても、同じことを学校で感じています。わくわくする学校をつくるために、言葉遣いについては改善の余地があると思っています。学校全体で重点的に取り組んでいるところです。今日はテレビ朝会を行いました。私は「言葉の力」という話をしました。「みんなが一番わくわくする言葉って何かな？」みんなで考えました。

「わくわく」という言葉に着目したきっかけは、全日本女子バスケットボールチームヘッドコーチである、恩塚亨氏が使っている「わくわくが最高」というスローガンです。恩塚氏は、「人はわくわくしているときに最高の力を発揮でき、わくわくさせるためには言葉のもつ力がとても大切である」と言っています。

先週、コミ食に行く前にスポーツセンターで参加した会議は「スポーツ少年団との意見交換会」でした。この会議の中でも「スポーツ指導における体罰や暴言の根絶」がテーマの一つでした。

残念ながら人を傷つける言葉に出会うことはあります。ネット等の普及によって難しい社会になっていることも事実です。みんなが安心してわくわくできる環境にしていくためには、根気強くコミュニティ全体で取り組むことが大切です。

学校の中で大きな環境である私たち教師も、すてきな言葉を使っていきたいと思います。